

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名：黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 桜井交通(株)	<p>運行系統名 ・愛本本線(愛本コミュニティタクシー)</p> <p>運行区間 ・愛本新下区公民館～イラッセ</p> <p>・ジャンボタクシーによる定時定路線運行 ・平日のみ運行</p>	<p>・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和6年4月)や市広報での特集記事の掲載(令和6年5月)、回数券の販売を実施した。</p> <p>・事業者と意見交換を実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題の解決に向けた取組についての検討を行っている。</p>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B <p>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和6年度目標値： 15,600人 令和6年度実績値： 13,077人 (参考) 当該系統利用者数 令和4年度：2,790人 令和5年度：2,453人 令和6年度：2,970人</p> <p>(2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和6年度目標値：99.9% 令和6年度実績値： 100.0%</p>	<p>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、当該系統の利用者数は増加している。</p> <p>・利用者数の増加については、当該路線に接続する新規路線の実証実験等の影響が考えられる。</p> <p>・引き続き、乗降データを収集・分析し、利用実態の把握に努めるほか、事業者との意見交換を実施し、路線の利便性向上と利用促進について、現行ダイヤの見直しも含め検討を行う。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 桜井交通(株)	運行系統名 ・石田三日市線 運行区間 ・にいかわ総合支援学校～黒部市役所 ・黒部市役所～黒部市役所 ・通勤ターによる定時定路線型運行 ・平日のみ運行	・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和6年4月)や市広報での特集記事の掲載(令和6年5月)、回数券の販売を実施した。 ・当該路線上に開業した大型商業施設・温浴施設や市の施設を経由する利用促進を図るための大幅なルート及びダイヤの変更について、地元や事業者と意見交換を実施し、協議を進めた。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和6年度目標値: 15,600人 令和6年度実績値: 13,077人 (参考) 当該系統利用者数 令和4年度:8,304人 令和5年度:7,577人 令和6年度:7,233人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和6年度目標値:99.9% 令和6年度実績値: 100.0%	・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も減少している。 ・利用者数の減少については、主な利用者となっている高齢者の入院・死亡等による影響が考えられる。 ・新規利用者の確保を図るため、路線の大幅なルート・ダイヤ変更を予定しており、見直し後も引き続き、乗降データの収集・分析や事業者との意見交換を実施し、路線の利便性向上と利用促進のための利用実態の把握に努める。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	<p>運行系統名 ・田家野ー中山エリア</p> <p>運行区間 ・田家地区～三日市地区</p> <p>・予約型デマンドタクシーとして運行 ・月・水・金に運行</p>	<p>・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和6年4月)や市広報での特集記事の掲載(令和6年5月)、回数券の販売を実施した。</p> <p>・事業者と意見交換を実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題の解決に向けた取組についての検討を行っている。</p>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B <p>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和6年度目標値: 15,600人 令和6年度実績値: 13,077人 (参考) 当該系統利用者数 令和4年度:542人 令和5年度:590人 令和6年度:626人</p> <p>(2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和6年度目標値:99.9% 令和6年度実績値: 100.0%</p>	<p>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、当該系統の利用者数は増加している。</p> <p>・引き続き、乗降データを収集・分析や事業者との意見交換を実施し、利用実態の把握や路線の利便性向上と利用促進に努める。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	<p>運行系統名 前沢－宮野エリア</p> <p>運行区間 ・前沢地区～三日市地区</p> <p>・予約型デマンドタクシーとして運行 ・月・水・金に運行</p>	<p>・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和6年4月)や市広報での特集記事の掲載(令和6年5月)、回数券の販売を実施した。</p> <p>・事業者と意見交換を実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題の解決に向けた取組についての検討を行っている。</p>	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B <p>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和6年度目標値: 15,600人 令和6年度実績値: 13,077人 (参考) 当該系統利用者数 令和4年度:824人 令和5年度:462人 令和6年度:172人</p> <p>(2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和6年度目標値:99.9% 令和6年度実績値: 100.0%</p>	<p>・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も大幅に減少している。</p> <p>・利用者数の減少については、移動式スーパーの営業や、主な利用者となっている高齢者の入院・死亡等による影響が考えられる。</p> <p>・引き続き、乗降データを収集・分析や事業者との意見交換を実施し、利用実態の把握や路線の利便性向上と利用促進に努めるほか、新規利用者確保のための地元への制度周知を改めて行う。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	運行系統名 ・村椿・大布施地区 運行区間 ・村椿・大布施地区～三日月地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・火・木・土に運行	・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和6年4月)や市広報での特集記事の掲載(令和6年5月)、回数券の販売を実施した。 ・事業者と意見交換を実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題の解決に向けた取組についての検討を行っている。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和6年度目標値: 15,600人 令和6年度実績値: 13,077人 (参考) 当該系統利用者数 令和4年度:869人 令和5年度:910人 令和6年度:911人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和6年度目標値:99.9% 令和6年度実績値: 100.0%	・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も前年と同程度となった。 ・引き続き、乗降データを収集・分析や事業者との意見交換を実施し、利用実態の把握や路線の利便性向上と利用促進に努める。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名: 黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くろべ交通(株)	運行系統名 ・荻生地区 運行区間 ・荻生地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・火・木・土に運行	・利用促進策として、時刻表・ニュースレターの該当地区への全戸配布(令和6年4月)や市広報での特集記事の掲載(令和6年5月)、回数券の販売を実施した。 ・事業者と意見交換を実施し、利用者の増加に向けた課題の整理や、課題の解決に向けた取組についての検討を行っている。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和6年度目標値: 15,600人 令和6年度実績値: 13,077人 (参考) 当該系統利用者数 令和4年度:501人 令和5年度:293人 令和6年度:299人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和6年度目標値:99.9% 令和6年度実績値: 100.0%	・市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も前年と同程度となった。 ・引き続き、乗降データを収集・分析や事業者との意見交換を実施し、利用実態の把握や路線の利便性向上と利用促進に努める。